

キャリア・カウンセリングと 新たなキャリア理論「ハプンスタンス・アプローチ」

KAZU

1. キャリア・カウンセリングとは何か

- ・学校の進路相談、公共職業安定所の職業相談、企業の人事相談、産業カウンセリングなどはキャリア・カウンセリングそのものである。
- ・「生徒、学生、成人のキャリアの方向付けや、進路の選択・決定に助力し、キャリア発達を促進することを専門領域とするカウンセリング」(日本進路指導学会認定キャリア・カウンセラー定義)

2. キャリア (Career) とは何か？

- ・単に「職業」とは言えない。ボランティアや子供会の役員等、報酬がなくても「キャリア」である。訳しようがなく、「キャリアはキャリア」とした方が使いやすい。
- ・「人生を構成する一連の出来事。自己発達の全体の中で、労働への関与として表現される職業と、人生の他の役割の連鎖。青年期から引退期に至る報酬，無報酬の一連の地位。それには学生，雇用者，年金生活者などの役割や副業，家業，ボランティアなども含まれる。～ Super(1976)の定義～
- ・「単なる日本語訳の『職業』、『職歴』の枠を超え大きな概念で使われるようになってきている。『職業生活を中心とした人生』と置き換えてもよい～所由紀(2005)「偶キャリ」より～

3. キャリア・ガイダンスとキャリア・カウンセリング

- ・キャリア・カウンセリングはキャリア・ガイダンスと一体となっていくところの特徴がある。
- ・学校における指導においても、職業センター等における指導においても、キャリア・ガイダンスが行われる。同じ哲学、理論、技法を背景に持つて迫るのであるが、対象となる相手が違うということである。

(1) キャリア・ガイダンスの 6 分野

自己理解～進路や職業，キャリア形成に関して自分自身を理解すること

- (内容例)
 - ・進路及び職業的適合性はどうか
 - ・人事，労務管理の能力はどうか
- (方法例)
 - ・観察法(見て)
 - ・検査法(テストして)
 - ・面接法(会って)

進路や職業情報を収集し、活用すること

(内容例) ・職業の種類は何があるか

(方法例) ・様々な情報を伝える(印刷物, インターネット等)

カウンセリング(キャリア・カウンセリング)～進路や職業, キャリアに関してカウンセリングを受けること。

計画的に啓発的な経験を行うこと～選択や意志決定の前に実際に経験してみること(体験入学, 職業実習等)

適切な進路決定、職業選択を行うこと～進学, 就職, キャリア・ルートの変更などを意志決定し, 実行すること。

評価とフォローアップを行うこと～選択した進路, 職業, キャリア・ルートの中で適応し, 向上すること。

(2)キャリア・カウンセリングの特徴

- ・開発的(育てる)カウンセリングに重点を置く。
- ・職業選択, キャリア形成などの具体的目標達成を重視する。
- ・手法としてはシステマティックアプローチをとる。
- ・ガイダンスと一体となっていく。
- ・理論は折衷法である。役に立つ理論をどんどん取り入れる。
- ・カウンセリングのみでなく, コンサルテーション, 協力, 教育の機能を重視する。
- ・学校, 職業相談機関, 企業などの社会の各分野を通じて, 生涯を通じ継続的に行われる。

4. 新しいキャリア理論「ハプスタンス・アプローチ」とは?

(1)概要

・1999年、スタンフォード大学のクランボルト教授らによって提唱された新しいキャリア理論。「Planned Happenstance 理論」ともいい、日本語に訳すと「計画された偶然理論」。

職業生活(あるいは人生も)は、実は「たまたま」や「偶然」の出来事や出会いなどによって決まっていくことが多い。

しかし、その「たまたま」や「偶然」は、本人がそれとは意識しないで行っていたことによって生じている。

・従来の、「自己分析 スキルの棚卸し ビジョン設定 アクションプランの立案」というキャリアデザインの考え方とは全く異なる考え方。

(2)ハプンスタンス・アプローチによるキャリア・カウンセリング

・カウンセラーは、クライアントに対して次の5つのスキルを磨くようにアドバイスする。

好奇心
ねばり強さ
柔軟性
楽観性
リスクテイク

* これら5つのスキルを開発し発揮することによって、自分では意識しない「偶然」の種を蒔くことができ、それがのちのその人のキャリアにいい影響を与えてくれる。

- ・好奇心と柔軟性をもって新しいことや不確実なものに取り組んでみよう（リスクテイク：危険を引き受けること）！！
- ・とりあえず動く！ これだと思ったらすぐに行動しよう！（リスクテイク）
- ・「これだ」と思ったことはとことん集中して成し遂げよう！！（ねばり強さ）
- ・途中、挫折や失敗があっても「何とかなる」と思って乗り切ろう！！（楽観性）

「キャリア」ができあがっている！！

(3)行き当たりばったりとの違い

- ・「計画がない」点だけが同じ。
- ・ハプンスタンス・アプローチでは、「偶然」をただ待つのではない。アンテナを張り、「情報」（言葉、数字、気配、雰囲気等）を逃さずにつかむ。
- ・行き当たりばったりは、計画を放棄している。ハプンスタンス・アプローチは、あえて計画していない状態。

参考・引用文献

- 1．学校カウンセリング．國分康孝編集．日本評論社．1999
- 2．偶キャリ．所由紀．経済界.2005